

C-5. 「もう一度種まき」(うまくいかないもどかしさを乗り越えて)

富士松北幼稚園(愛知県刈谷市)

[5歳児]

<これまでの栽培活動>

年中組の終わりのジャガイモ植えとラッカセイの種まきでは、幼児らは種を手にする度に「おいしそう」「食べたいな」と言いながらも、「植えてみよう」「いっぱいになるかもしれないよ」という期待をもって土に植えていた。年長組に進級し、ジャガイモは小さいながらも順調に育っていたが、ラッカセイは、数人しか芽が出なかったため、なぜ芽が出なかったのか考えた。そして今度はポットで大切に育ててから畑に植えようと、ラッカセイをもう一度育てているところだった。幼児らは、ジャガイモの芽が出たという喜びと、ラッカセイは出にくかったという残念な気持ちを経験している。

トウモロコシの種まきの様子

4月 19日

しわしわの種を手にした時、半信半疑だった幼児らが、実際に育てて試してみることで、ピンクの種から芽が出ていることに気付いて感動したり、ぴゅっと伸びた芽がくるくる丸まったという変化を感じ取ったりしていた。昨日より今日と、少しずつではあるが、確かに生長しているという変化を楽しむ気持ちが、これから生長を期待する心につながっていったことが分かる。

「狭くてかわいそうだよ」畑に引越し

5月 11日

大きくなってきたトウモロコシを見て、C児「なんだか狭そう」B児「狭くてかわいそうだよ」と言う。教師「そうだね、C君とB君のは、もっと広い場所が欲しいね」A児「畑にお引越し?」「まだ芽が出てない子や、小さい子もいるけど、どうする?」と話題になった。大きさは個々に違って、10~20cm以上の苗もあれば、芽が出ていないものもある。

「私出てない」と言うし児にM児が「分けてあげるよ。だって3本出てるもん」と言い、L児に苗を分ける。まだ苗の小さいN児やO児も「畑がいい」と言った。みんなで、畑に苗を植えかえることにした。

(考察) N児やO児の苗は、小さいけれど、みんなと同じように育てたいという願いをもっていることを受け止めた。そして、小さい苗の生長を予想することが難しいN児やO児は「試してみなければ分からぬ」と考え、教師は、栽培の工夫を引き出すのではなく、失敗を恐れずに、植えかえることを見守ることにした。

子どもたちは、スイカ、メロン、サツマイモ、カボチャの苗植えで、ポットから畑に苗を植えかえる経験をしてきたが、親子やグループでやってきたため、苗の植えかえを全て自分一人でやるのは初めての経験だった。

また、自分で種から育てた苗を植えかえるのも初めての経験だった。

A児「穴掘るの?」

B児「水入れていい?」

J児「先生、どうしよう、お水を入れないで植えちゃった」と泣きそうになる。

教師「上からたっぷりあげておこうか」

J児「うん、そうする」と腕を引っ張る。

K児「先生、来て。一緒にやって」

今まで、種まきや、他の野菜のグループでの苗植えを自信を持って進めてきたA児やB児も、自分ひとりで1ポットの苗を担うことには不安があったようで、1つずつ教師に確認しながら、慎重に進めていった。教師や友達の助けを借りて、何とか、ひとり1ポット(2~3本)ずつ、苗を植えることができた。ポットでは、あんなに狭そうに大きく育っていたトウモロコシが、畑に植えかえたら、とても小さく見えた。教師も幼児も、広い場所に引っ越ししてうれしい気持ちが半分、本当に育つか心配な気持ちが半分だった。この日から、小さなトウモロコシが心配で、毎日畑に通って、お水をあげたり、草を抜いたりする親子の姿が見られるようになった。

(考察) 今までの苗植えで躊躇することなく進めていったA児やB児が慎重になっていた姿や、教師と一緒にしないと不安がったK児の姿があった。自分で種から育て、日々生長するトウモロコシの姿を目の当たりにしてきたことで、植物の命を強く感じ、生きているものを扱う責任を自分1人で担う責任感と緊張感が芽生えたと思われる。

「なくなっちゃった」

5月 13日

~うまくいかないもどかしさを乗り越えて~

降園時、幼児らはトウモロコシの生長を期待し、保護者と一緒に畑に行って、草抜きと水やりをして世話ををするようになった。

N児が自分のトウモロコシを植えた場所にしゃがんでいる。B児「先生、大変!N君トウモロコシ抜いちゃったよ!」教師「N君、それトウモロコシだね」N児は、今にも泣きそうな顔をしている。教師「N君、草だと思ったの?」N児はうなずきながら涙をこらえて、一生懸命に植えなおしている。そして、お水をいっぱいかけた。B児「あ~あ、もう死んじゃうよ」教師「分からないよ、今、N君元に戻してお水をたっぷりかけたから、生き返るかもしれないよ。すると、B児はN児の必死な姿に気付いて「本当だ。生き返るといいね。大丈夫だよ」と、励ましていた。N児の母も、その様子を優しく見守っていた。

2日後、N児のトウモロコシは、カリカリに茶色くなったがN児は水をあげ続けた。その1週間後には、小さいままで植えかえたO児のトウモロコシも枯れてしまった。もう、友達のトウモロコシは畑に根付き、分けてもらうことが困難だった。

「N君、Oちゃん、もう一度種から育ててみる?」

～教師から提案～

5月23日

教師の言葉に「うん、育てる。もう1回やってみる」と目を輝かせた2人は張り切って、ポットに種を植え、小さい名札を作って立てる。他の幼児も興味津々に集まってきた。「これは、みんなのね」と残った種を植える幼児もいた。

2人は毎朝、登園すると、ポットをのぞき込んで水を優しくかけていた。「芽が出た」「大きくなった」「また伸びた」と、前に育てた時よりもトウモロコシの様子をよく観察し、気付いたことを教師や友達に伝え、生長を喜んでいた。N児とO児の母も、登降園時に、ポットを覗いては、「大きくなってきたね」と一緒に生長を喜んでくれ、2人を支えてくれていた。

N児・O児トウモロコシの苗を植える 6月8日

N児「もう畑に植えたい」と言い、O児も「この前よりもずっと大きくなつたから、今日の帰りに畑に植える」と言い、2人は畑にトウモロコシの苗を植えかえた。

(考察)

- N児は自分が間違えてトウモロコシを抜いてしまったことに気付いた瞬間に、何とかしようと考えて、ちぎれてしまった苗を一生懸命土に植えなおし、水を掛けた。その姿を、教師やB児がしっかり見守り、「生き返るかもしれない」とN児の思いに共感していくことで、N児はあきらめずに、カリカリになるまでトウモロコシの世話をし続けることができた。
- 一度、失敗を経験したN児とO児は、苗まで育てたという自信と、育つという確信があったので、焦らずに、自分たちのペースで畑に植えかえるまで、楽しんで育てることができた。そして、前回の失敗は繰り返すまいと、「早く畑に植えたい」という気持ちよりも、「しっかりと育ててから植えかえよう」という強い決意をもって、じっくり待つことができた。

「ふさふさ。おもしろい」

7月中旬

～実ができる喜びから収穫まで～

幼児らは、トウモロコシの実ができるいく過程で“毛”に注目し、「ふさふさ。おもしろい」と興味をもって心を引かれた。その後、茶色くなっている“毛”を見て、ジャガイモの葉っぱが収穫の時期に枯れてしまったことを思い出し、「実ができるってことじゃない?」などと話題になった。収穫後は、実を覆っている大量の“毛”に出くわすことで、「実を守ってるんだよ」と、“毛”的役割にまで考えを巡らせていた。

(考察) 幼児が「おもしろい」と心を動かされた“毛”という1点に注目して、一緒に見ていくことが、幼児が「こうなっている」と観察したり、「きっとこうだ」と予想したり、「こういうことなんじゃないの?」と、自分なりに理由を考えたりする力につながっていくことが分かった。

収穫を喜んだ

7月13日

N児も「僕のまだ小さいから、これは置いて1個取ろう」と収穫を楽しむことができた。

「種を取ろう!」～生命から生命へ

8月

すくすく畑には、N児とO児が植えなおした時、一緒に植えた第2弾のトウモロコシが実をならしている。収穫期を逃してしまったものもあった。この日は夏休みの出園日。「畑にまだトウモロコシが残ってるね。どうする?」という教師の言葉に、「また食べる?でも、種を取るのもいいよね」「何でも種が取れるんだよ。また畑に植えて増やそう!」という話になり、また実らせることを楽しみに、種取りをした。



(考察) 種から育てたという経験が、トウモロコシの実が種になるという直感的な予想につながり、しわくちゃの種だけ育ててみたらトウモロコシになったという経験が、「また育てたい」「試してみよう」とする気持ちにつながった。幼児らは、予想したことをしてみて、自分の中に実体験として残していく中で、「何でも種が取れる」「畑に植えて増やそう」と、小さな生命のく種→実→種という普遍的なサイクルに気付いていった。

ポイント

まだ小さい苗を植えかえてしまった子、草と間違えてトウモロコシの芽を取ってしまった子どもは、その葛藤経験により、2人とも自分のトウモロコシと向き合って大切に栽培することができ、心に残る経験の積み重ねになりました。その背景には周囲の子どもたちも、思いを感じ取って励ましたり2人の様子やトウモロコシの生長を見守ったりする姿があります。こうして注意深く生長を見守ることで、トウモロコシの特徴的な「毛」に注目して観察し、考えたり予想したりする姿も引き出しました。また、小さなシワシワの種、頼りない苗から、大きくなつた苗にトウモロコシができる確かな経験から、「種ができる」「また植えれば増やせる」と、く種→実→種というサイクルに気付いて予想や期待を持つことができました。